



会長就任にあたって

会長 三浦 修

令和元年5月24日の一般社団法人山口県病院協会定時総会で、任期満了に伴う理事及び監事の改選が行われ、新役員が決定いたしました。木下毅前会長の後を引き継ぎ、第11代の山口県病院協会新会長に選任されました三浦 修です。70年近くの歴史と伝統を持ち、県内132病院の連携の上に成り立つ山口県病院協会の会長を引き受けるにあたり、その責任の重さに身の引き締まる思いです。

現在、医療・介護を取り巻く環境はますます厳しくなり、団塊の世代が75歳以上となる2025年以降を見据え、各医療圏で地域医療構想が進められています。山口県は全国平均に比し約10年高齢化が先行していますが、その中で将来にわたっての持続可能で効率的かつ質の高い医療提供体制の構築が求められ、病床機能の分化・連携、在宅医療の推進、医療従事者の確保などの施策を推し進めることで目指すべき医療提供体制を実現すべく、各病院の職員が一丸となって日々汗を流していることと思います。

医師・医療従事者の働き方改革も大きな課題です。「医師の働き方改革に関する検討会」では、「医師も労働者である」ことが確認され、原則として勤務医の時間外労働の上限時間を年間960時間・月100時間（休日労働を含む）とされました（A水準：診療従事勤務医に2024年以降適用される水準）。例外規定もいくつか提示されていますが、今後、応召義務、宿日直、自己研鑽、労務管理、健康管理など多くの課題を抱えながら、医療従事者の労働時間短縮に向けた取り組みが求められます。良質で安全な医療提供体制を維持するために、どうしたら医療従事者に燃え尽きることなくモチベーションを持続けてもらうかが重要な課題と思われます。

実効性のある医師偏在対策の着実な推進も、特に山口県では喫緊の課題として取り組んでいかなければなりません。県では、医学生、臨床研修医、専攻医の確保・育成事業、医師就業環境整備総合対策事業など、若手医師の県内定着促進を多方面で進めていますが、なかなか結果が残せていない現状です。県内各医療機関は、少ない医師数の中で目の前の診療に追われる毎日ですが、指導的立場として若い人たちの教育も併せて行っています。若い医師が山口県に残りたいと思えるインセンティブと、魅力ある医療水準、県としての環境づくりとともに、各病院の指導的立場の先生方にも待遇改善やモチベーションを高められる施策が必要と考えます。

超高齢社会を迎えようとする中、山口県病院協会として県民の保健・医療・福祉の増進に最大限寄与するとともに、会員病院が、それぞれの機能を発揮し、永続性をもって地域医療に邁進できるよう精一杯努力していく所存です。今後とも、より一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

CONTENTS (目次)

山口県病院協会会長挨拶	1 ページ
協会役員コーナー	2 ページ
令和元年度定時総会	3 ページ
優良職員表彰 受賞者一覧	4～5 ページ
病院スタッフコーナー	6 ページ
春の叙勲	7 ページ
令和元年度顧問・役員一覧	7 ページ
医療経営講習会報告	7 ページ
医療懇話会	8 ページ
研修会報告	8 ページ
事務長部会コーナー	9 ページ
諸会議報告	9 ページ
お知らせコーナー	10 ページ

協会役員コーナー

八重山病～それは1つの恋のようなものだった～



独立行政法人国立病院機構
専門医療センター

病院長 林 弘人

八重山病という感染症をご存知でしょうか？ 広く蔓延する沖縄病の一種で、沖縄県南西部に位置する八重山諸島（石垣島・西表島・竹富島・小浜島・鳩間島・黒島・波照間島・与那国島、等）にて感染する病です。1960年に当時の東大総長であった物理学者の茅誠司氏が、沖縄教育研究中央集会の特別講師として沖縄を訪れた際「沖縄のことを考えつづける沖縄病」という言葉と概念を語ったことが、沖縄病の最初だとされています。

小生も毎年この時期になると症状が再燃します。人により軽症から重症までいろいろな症状が出現するようですが、主には八重山に何度も何度も行きたくなる気持ちを抑止することが困難になり、ついには実行しないと治まらないというものです。発病したのは最初に小浜島に行った時で、もうかれこれ10数年になります。幸いここ数年は夏休みが取れず“小康状態”を保っていました。

岡本太郎氏は「沖縄文化論」の中で「それは1つの恋のようなものだった」と表現し「しかし何もなく、音声だけが響き、また消えて行く世界のすばらしさというものがある」あるいは「私を最も感動させたものは、意外にも、まったく何の実体も持っていない——といて差支えない、御嶽（うたき）だった」、「その何にもないということの素晴らしさに私は驚嘆した」と述べています。

現実からの逃避ではありません。日々の喧騒を離れて現状を見つめ直す時間（とき）を持ちなさいと天の声が告げています。今年は何もないところへ何も持たずに出掛けるといたしましょう。

医師の働き方改革



医療法人社団向陽会
阿知須同仁病院

理事長 西田 一也

緊張感のないままに改元を迎えたのでは、と気になります。来年2020年は、いよいよ東京オリンピックの年です。テレビドラマのような展開です。

平成最後の社会保障審議会では、2040年を展望すると、少子高齢化の更なる進展で、人口減に伴う医療人材の不足から、医療従事者の働き方改革といった新たな課題の対応も必要となるという文面から、議論がスタートしています。「医師の働き方改革」は、5年先なので、高をくくっていたところ、具体的数字が示される段階となってその枠組みは複雑でどう解釈すべきであるかと悩ましく感じられます。労働者たる医師に課せられた時間外業務の許容範囲は、世間的には想像しにくいのではないかと思います。宿日直許可基準という言葉も登場しましたが、医師の36協定は重要です。これらの誘因に診療所の先生方の日常業務の在り方にあるという論調にも、驚きを隠しきれないのではないのでしょうか。新たな地域医療構想の展開にも、しっかり組み込まれていますのでどんどん進みます。その内容には、「派遣」等による医師の確保、医療機能の集約化という方法が含まれていると記載されています。

昭和生まれの昭和卒学年といたしましては、若い先生方の疲労が重なり困り果てた表情に遭遇すると、こちらにも応えます。いつでも注文を承ります。どうか、いつも穏やかで新鮮な面持ちで過ごしていただきたい。未来は夢とリスクだらけです。

令和元年度 定時総会開催

日時 令和元年5月24日（金）15：00～16：15

場所 山口市小郡黄金町1番1号

山口グランドホテル 鳳凰の間



開 会

天津昇次事務局長による開会宣言がなされた。木下毅会長は挨拶で元号が改まって初めての総会であること、そして役員改選の年であることに触れた。

その後、来賓の村岡嗣政山口県知事（代理・中野恵健康福祉部部長）、柳居俊学山口県議会議長（代理・平岡望県議会環境福祉委員会委員長）、河村康明山口県医師会会長より、それぞれ祝辞が述べられた。



中野 恵氏

平岡 望氏

河村 康明氏

次いで、病院優良職員の表彰状授与式が行われ、受賞者78名を代表して湯野温泉病院の植田京子氏に表彰状と記念品が授与された。



植田 京子氏

総会成立宣言

審議に先立ち、木下議長より、総会出席者は当協会の会員総数132名に対して106名（うち委任状62名）であり、総会が有効に成立する旨宣言された。

議事録署名人選出

議事録署名人として、玉木病院玉木英樹病院長、並びに美祢市立美東病院村上不二夫病院長を選出した。

報告事項

議案に先立ち、天津事務局長より令和元年度事業計画及び収支予算について詳細に説明が行われた。

議案審議

○議案第1号

「平成30年度一般社団法人山口県病院協会事業報告及び収支決算の承認について」

天津事務局長より、平成30年度に実施した各種事業内容について説明と報告がなされた。

さらに、平成30年度における当協会の収支決算状況について収支決算書に基づき説明と報告があり、続いて城甲啓治監事より平成30年度の事業並びに決算関係資料について尾中宇蘭監事とともに詳細に検討した結果、いずれも適正かつ適切に処理されている旨監査報告が行われ、審議の結果、原案どおり可決承認された。

○議案第2号

「任期満了に伴う理事及び監事の改選について」

天津事務局長による任期満了に伴う理事及び監事の改選の議題提案に続き、小田裕胤選挙管理委員長から立候補者全員当選の宣言が行われ、新役員が滞りなく選任された。

○議案第3号

「顧問の委嘱の承認について」

天津事務局長より顧問4名の委嘱について説明がなされ、承認された。

閉 会

木下議長より、本日の定時総会はすべて終了したことが告げられ、議事の進行への協力に対する感謝の意を述べ閉会が宣言された。

◎ 特別講演

定時総会終了後、山口大学医学部附属病院 AIシステム医学・医療研究教育センター センター長の浅井義之氏の特別講演「医学医療における人工知能（AI）・システムバイオロジーの新展開」が行われ、62名が聴講した。

浅井氏はAIによる生命機能システムの解析や、さまざまな症例のシミュレーションを行う研究について詳しく紹介された。また、そのような研究を通じた若い人材の県内定着の夢についても語られ、参加者と思いを分かち合う講演会となった。



浅井 義之氏



講演会風景

受賞おめでとうございます

令和元年度 病院優良職員表彰 受賞者名簿

病 院 名	役 職	姓 名
阿 知 須 共 立 病 院	看 護 部 付 師 長	井 原 京 子
〃	看 護 部 長	大 谷 し げ ゐ
阿 知 須 同 仁 病 院	看 護 師 長	大 児 玉 ま り
〃	放 射 線 技 師 長	弘 永 哲 夫
泉 原 病 院	准 看 護 師	大 上 進
〃	看 護 師	大 川 武 づ
岩 国 病 院	医 師	脇 本 真 理
岩国市医療センター医師会病院	薬 剤 部 主 任	白 木 尚 美
〃	看 護 師	野 村 敦 子
宇 部 第 一 病 院	看 護 主 任	花 谷 順 子
〃	保 育 士	松 尾 文 子
宇部西リハビリテーション病院	介 護 福 祉 士	長 岡 美 代 子
〃	介 護 職 員	藤 井 豊 子
宇部リハビリテーション病院	看 護 師 長	池 田 末 子
〃	介 護 チ ー フ	田 中 悦 子
大 田 病 院	薬 剤 師	高 橋 智 美
〃	准 看 護 師	和 田 則 子
岡 田 病 院	薬 剤 師	西 谷 啓 太 郎
〃	准 看 護 師	林 博 子
小 郡 第 一 総 合 病 院	看 護 補 助 者	下 村 郁 恵 子
〃	看 護 師	白 井 綾 子
小 郡 ま き は ら 病 院	副 師 長	大 田 圭 子
〃	施 設 長	中 村 隆 子
小 野 田 赤 十 字 病 院	臨 床 検 査 課 係 長	竹 岡 律 子
〃	リハビリテーション課係長	永 池 博 己
片 倉 病 院	看 護 師	秋 永 誠 子
〃	准 看 護 師	長 尾 智 恵 子
鹿 野 博 愛 病 院	介 護 支 援 専 門 員	村 上 美 由
吉 南 病 院	病 棟 師 長	尾 田 浦 寿 恵 子
〃	看 護 師	三 川 美 矢 子
玖 珂 中 央 病 院	准 看 護 師	白 津 純 子
〃	准 看 護 師	川 山 國 子
厚 南 セ ン ト ヒ ル 病 院	地 域 連 携 室 室 長	宮 牛 島 淳 子
光 風 園 病 院	介 護 福 祉 士	牛 竹 中 佳 民 子
〃	看 護 師	竹 大 森 重 子
高 嶺 病 院	看 護 部 長	藤 佐 典 夫
〃	事 務 主 任	重 甲 祐 子
済 生 会 下 関 総 合 病 院	看 護 師	松 本 祐 子
〃	助 産 師 看 護 師 長	

病 院 名	役 職	姓 名
坂 本 病 院	看 護 補 助 者	国 弘 明 美
〃	看 護 補 助 者	竹 本 弥 恵
佐 々 木 外 科 病 院	薬 剤 科 主 任	松 島 祐 子
サ ン ポ プ ラ 病 院	准 看 護 師	松 富 裕 子
山 陽 小 野 田 市 民 病 院	産 婦 人 科 医 長	住 浪 義 則
〃	感 染 対 策 室 長	山 本 扶 美 江
重 本 病 院	看 護 師	山 田 千 尚 穂 美
〃	准 看 護 師	山 田 勝 典
下 関 市 立 豊 田 中 央 病 院	放 射 線 技 師 主 査	林 山 智 恵 美
周 南 記 念 病 院	メンタルヘルスケア室長	片 山 和 子
〃	准 看 護 師	竹 光 徳 美
周 南 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 病 院	外 来 看 護 師 長	沖 野 愛 子
〃	総 務 課 長	河 子 坂 幸
桑 陽 病 院	看 護 師	金 田 小 藤 重 浦 保 瀬 光 中 田 大 永 池 宮 金 河 飯 津 市 平 寺 池 牛 小 原 植 羽
〃	看 護 師	田 子 坂 幸
田 代 台 病 院	薬 剤 師	小 藤 重 浦 保 瀬 光 中 田 大 永 池 宮 金 河 飯 津 市 平 寺 池 牛 小 原 植 羽
〃	薬 剤 師	小 藤 重 浦 保 瀬 光 中 田 大 永 池 宮 金 河 飯 津 市 平 寺 池 牛 小 原 植 羽
都 志 見 病 院	准 看 護 師	松 久 下 高 田 大 永 池 宮 金 河 飯 津 市 平 寺 池 牛 小 原 植 羽
徳 山 医 師 会 病 院	看 護 補 助 者	久 下 高 田 大 永 池 宮 金 河 飯 津 市 平 寺 池 牛 小 原 植 羽
〃	看 護 補 助 者	久 下 高 田 大 永 池 宮 金 河 飯 津 市 平 寺 池 牛 小 原 植 羽
徳 山 静 養 院	病 棟 主 任	下 高 田 大 永 池 宮 金 河 飯 津 市 平 寺 池 牛 小 原 植 羽
〃	准 看 護 師	高 田 大 永 池 宮 金 河 飯 津 市 平 寺 池 牛 小 原 植 羽
徳 山 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 病 院	看 護 師	大 永 池 宮 金 河 飯 津 市 平 寺 池 牛 小 原 植 羽
西 尾 病 院	看 護 補 助 者 主 任	永 池 宮 金 河 飯 津 市 平 寺 池 牛 小 原 植 羽
仁 保 病 院	病 棟 師 長	池 宮 金 河 飯 津 市 平 寺 池 牛 小 原 植 羽
〃	作 業 療 法 助 手	宮 金 河 飯 津 市 平 寺 池 牛 小 原 植 羽
福 永 病 院	医 事 主 任	金 河 飯 津 市 平 寺 池 牛 小 原 植 羽
〃	調 理 師	河 飯 津 市 平 寺 池 牛 小 原 植 羽
扶 老 会 病 院	看 護 副 主 任	飯 津 市 平 寺 池 牛 小 原 植 羽
〃	病 棟 師 長	津 市 平 寺 池 牛 小 原 植 羽
豊 関 会 記 念 病 院	師 長	市 平 寺 池 牛 小 原 植 羽
防 府 保 養 病 院	看 護 課 係 長	平 寺 池 牛 小 原 植 羽
防 府 外 科 病 院	准 看 護 師	寺 池 牛 小 原 植 羽
松 本 田 尻 病 院	管 理 栄 養 士 主 任	池 牛 小 原 植 羽
〃	看 護 主 任	牛 小 原 植 羽
み ち が み 病 院	看 護 補 助 者	小 原 植 羽
湯 野 温 泉 病 院	看 護 補 助 者	原 植 羽
〃	管 理 栄 養 士 主 任	植 羽
〃	保 育 士	羽

受賞者人数 78名

病院スタッフコーナー

「食べ続ける」が意味すること



医療法人康淳会
緑町三祐病院
言語聴覚士

長富 徹也

『これが別れのライスカレーです』。防府ゆかりの俳人・種田山頭火は食に関する多くの句を残しています。満たされない空虚、どことなく漂う永遠の別れ、死生観をもまとうこの句も、その中のひとつです。身銭は好まず、漂泊を続ける大食漢。食べるときは、もっぱら善意のほどこし。たかった酒で前後不覚。作家の嵐山光三郎は著書「文人悪食」の中で「きわめつけの俳句中毒者であり、それは食に対しても同じ」と評しています。晩年、強く死を意識するようになったといわれる山頭火ですが、亡くなる数日前の日記には『御飯を野良猫に食べられていた』と書いています。彼は最期まで「食べ続ける」のでした。

可能な限り「食べ続ける」こと。一般的に、摂食嚥下訓練の目標に挙げられます。そして「食べることこそが最適な摂食嚥下訓練」ともいわれています。食物を使わない間接訓練もいくつか挙げられますが、これらも「食べ続ける」ことに繋げるためだといえるでしょう。

摂食嚥下障害は、食べる意欲、全身状態、認知機能や姿勢、栄養状態など多くの要因が交錯しています。嚥下機能もそのひとつ。背景は複雑だからこそ「食べ続ける」というシンプルなアプローチが重要だと思えてくるのです。そして、このシンプルさがあれば、より多くの職種が目標を共有して、アイデアを出し合う機会も増えてくれると期待できます。

ところで、せっかくの御飯を野良猫に食べられてしまった山頭火。後日、『秋の夜や犬から貰ったり猫に与へたり』と詠みましたが、これが辞世の句のひとつといわれています。

進歩する情報技術とデータの活用



医療法人愛の会
光風園病院
総務員

徳永 裕也

平成が終わり、新しい元号「令和」が始まって早2か月が経ちました。

平成で大きく変化したモノの1つに、情報技術（IT）が挙げられます。昨今、医療業界では、ロボット技術やオンライン診療などいわれていますが、まだまだ導入されている病院は多くないと思います。

医療業界で普及しているITに電子カルテがあります。電子カルテは病院が扱うカルテや看護記録などのデータを電子化します。本来、データを電子化することは診療の補助が目的でした。しかし、データ提出加算が多くの入院料でも要件となり、病院経営にもデータ分析が必要となった現在、病院が大量のデータを扱う機会が増えました。その為、データを電子化し集計・活用することが必要となりました。当院は約5年前にデータ提出加算の開始と同時に電子カルテを導入しました。同時に、患者データベースの作成も開始しました。このデータベースは、データ提出用の情報を基にしており、患者の

様々な情報を蓄積しています。このデータから、病棟ごとの入院経路・年齢・疾患・在院日数などの基本情報や、BI（Barthel Index）やFIM（Functional Independence Measure）などの治療情報を抽出することが出来ます。データ提出加算は地域包括ケア病棟の開設に必須の為、開始しましたが、副産物を上手に活用できていると思います。

今後、2025年問題や人口減少による働き手不足などで、医療業界を取り巻く状況は厳しいものとなります。当院でもデータベースから毎年治療成績を作成し、経営の指標として利用しています。今後も我々は、進歩する情報技術を上手に活用する事が求められます。

瑞宝重光章受章おめでとうございます



令和元年度春の叙勲におきまして、当協会元副会長・現顧問の 江里 健輔 先生 が、保健衛生に尽くされた功績により、瑞宝重光章を授与されました。

心よりお祝い申し上げます。

今後ともご健康に留意され、地域医療の更なる充実発展に尽くされることを祈念申し上げます。



令和元年度 一般社団法人山口県病院協会顧問・役員名簿

令和元年度一般社団法人山口県病院協会定時総会において、顧問・役員は下記のとおり選任されました。

顧問	江里健輔	(阿知須同仁病院 顧問)			
〃	小田裕胤	(美祢市立美東病院 顧問)			
〃	木下 毅	(光風園病院 理事長)			
〃	水田英司	(小野田赤十字病院 名誉院長)			
会長	三浦 修	(防府胃腸病院)	理事	西田一也	(阿知須同仁病院)
副会長	神徳眞也	(三田尻病院)	〃	桑田憲幸	(光市立光総合病院)
〃	馬場良和	(周東総合病院)	〃	吉岡春紀	(玖珂中央病院)
常任理事	高橋幹治	(片倉病院)	〃	村上不二夫	(美祢市立美東病院)
〃	玉木英樹	(玉木病院)	〃	清水良一	(小野田赤十字病院)
〃	林 弘人	(関門医療センター)	〃	橋谷田博	(周南記念病院)
〃	名西史夫	(山口赤十字病院)	〃	木下祐介	(光風園病院)
〃	松谷 朗	(新南陽市民病院)	監事	尾中宇蘭	(尾中病院)
〃	茶川治樹	(岩国市医療センター医師会病院)	〃	城甲啓治	(済生会山口総合病院)

医療経営講習会報告

平成30年度 冬季医療経営講習会

平成31年3月29日（金）、山口グランドホテルにおいて平成30年度冬季医療経営講習会が開催され、72名の参加があった。

テーマ・講師は以下のとおり。

【講習会】

テーマ 「長寿時代のエンドオブライフ・ケア
—延命医療について考える—

講 師 東京大学大学院人文社会系研究科
死生学・応用倫理センター 上廣講座
特任教授 会田 薫子 氏

会田氏は、ACP（アドバンス ケア プランニング）とは医療をどのように提供していくか、その対話のプロセスであると定義され、臨床フレイル・スケール等、参考になりうる概念を紹介された。高齢化率の高い山口県では現在進行形の問題であり、講演後には具体的な質問が寄せられた。



会田 薫子氏



講習会風景

医療懇話会報告

令和元年6月7日（金）午後4時より山口市湯田温泉ホテルニュータナカにおいて、令和元年度医療懇話会が開催され、山口県健康福祉部から中野部長ほか10名、山口県病院協会から三浦会長ほか17名が出席した。

三浦会長の挨拶に続いて、中野部長代理・岩井部次長より挨拶があり、続いて健康福祉部の各課長から令和元年度の山口県健康福祉部の事業概要について説明があった。

なお、事前に以下の質問事項の提出があり、それぞれに県担当課長より回答が為された。

1. 若手医師の県内定着対策について
2. 山口県医師確保対策について
3. 医療系外国人労働者受け入れについて
4. 介護医療院への転換について

他にも今年度の事業概要に関連した質問が上がり、意見交換が行われた。



三浦会長



岩井部次長



懇話会風景

研修会報告

令和元年度 病院初級職員研修会

令和元年6月24日（月）、山口県総合保健会館第1研修室において、病院初級職員研修会が開催され、188名の参加があった。

研修会のテーマ・講師は以下のとおり。

【研修会】

テーマ 「山口県下の病院の概況」

講 師 山口県病院協会

事務局長 天津 昇次

テーマ 「病院で働くために必要な接客技術」

～顧客満足度を上げて、

病院の印象をより良くするテクニックを習得する～

講 師 有限会社ケイ・アンド・ワイ

人材育成部門 代表 温品 富美子 氏



温品 富美子氏



研修会風景

事務長部会コーナー

山口県病院協会事務長部会常任幹事会

【第1回】

日 時 平成31年4月18日（木）15:00～16:30

開催場所 新山口ターミナルホテル

【協議事項】

1. 事務長部会役員改選について
2. 第1回事務長部会研修会について
・演題、講師について
3. その他

【第2回】

日 時 令和元年6月14日（金）17:00～

開催場所 新山口ターミナルホテル

【協議事項】

1. 事務長部会役員改選について
2. その他

諸会議報告

第3回診療報酬改定影響度調査検討委員会

日 時 平成31年4月9日（火）15:00～17:00

開催場所 新山口ターミナルホテル

【議事次第】

1. 平成30年度診療報酬改定影響度調査結果報告書について
2. その他

令和元年度 第1回理事会

日 時 令和元年5月14日（火）15:30～17:00

開催場所 新山口ターミナルホテル

【議事次第】

1. 令和元年度定時総会提出議案について
・平成30年度事業報告書及び収支決算書について
・任期満了に伴う理事及び監事の改選について
・顧問の委嘱の承認について
2. 元号改定に伴う平成31年度事業計画書及び収支予算書の元号表示改定について

【承認事項】

1. 令和元年度病院優良職員表彰について
2. 令和元年度医療懇話会の開催について
3. 事務長部会研修会について
4. 第83回全国学校歯科保健研究大会後援名義使用について
5. 「医療ガス安全講習会」ご後援名義使用ご許可のお願いについて

【報告事項】

1. 平成30年度診療報酬改定影響度調査報告について
2. 賛助会員の退会について
3. 県行政委員等の推薦について
・山口県予防保健協会 理事
常任理事 神徳 真也（新任）

- ・山口県看護職員確保対策協議会委員
常任理事 玉木 英樹（再任）
- ・山口県公衆衛生協会評議員
理事 西田 一也（再任）
- ・山口県男女共同参画推進連携会議委員
事務局長 天津 昇次（新任）

4. 県各種委員会等の結果報告について

木下会長

- ・平成30年度山口県医療審議会（3月26日）

- ・第99回山口県医療審議会医療法人部会（3月26日）

三浦副会長

- ・山口県予防保険協会定例理事会（3月14日）

- ・平成30年度第2回山口県専門医制度協議会（3月22日）

- ・平成31年度第1回山口県社会福祉審議会（4月19日）

水田副会長

- ・令和元年度山口県献血推進協議会（5月9日）

玉木常任理事

- ・平成30年度山口県訪問看護推進協議会（3月28日）

村上理事

- ・平成30年度山口県がん対策協議会がん登録部門の開催について（3月26日）

天津事務局長

- ・山口県福祉総合相談支援センター開所式について（4月1日）

3. その他

令和元年度 第1回情報管理委員会

日 時 令和元年6月14日（金）15:00～17:00

開催場所 新山口ターミナルホテル

【協議事項】

1. 7月号の発行について
2. 10月号の発行準備について
3. その他

お知らせコーナー

山口県健康福祉功労者（優良看護職員）知事表彰

令和元年6月16日、山口県病院協会より推薦した8名の方が、多年にわたり看護業務に従事した功績により山口県健康福祉功労者（優良看護職員）知事表彰を受賞されました。おめでとうございます。

氏名（50音順）	病院名
阿武 禮子	湯野温泉病院
井町 美江子	安岡病院
上田 三千代	宇部興産中央病院
大澤 美枝子	山口労災病院
大谷 しげみ	阿知須共立病院
賀谷 恵美子	いしい記念病院
清水 由美	山口県立総合医療センター
谷岡 みゆき	山口大学医学部附属病院



左より受賞者 井町、上田、大谷、清水、谷岡の各氏



阿武氏



大澤氏



賀谷氏

令和元年度医療ガス保安講習会（主催：一般社団法人日本産業・医療ガス協会）

医療ガス保安講習会が周南市で開催されますので、ご案内いたします。

開催日 令和元年9月12日（木）13：00～16：50

場 所 ホテルサンルート徳山（周南市）

会員等の異動

会員の変更

- ・小野田赤十字病院
- ・光風園病院
- ・斎木病院
- ・柴田病院
- ・周南記念病院
- ・長門総合病院

変更後

病院長	清水 良一
病院長	木下 祐介
理事長	齋木 泰彦
理事長	柴田 大明
病院長	橋谷田 博
病院長	村松 慶一

変更前

名誉院長	水田 英司
理事長	木下 毅
理事長	齋木 貞彦
理事長	柴田 眼治
理事長	中元 賢武
病院長	永富 裕二

賛助会員の退会

- ・株式会社フジックス 代表取締役 藤光 敏夫 （下関市）

病院協会の主な行事予定

○7月30日	第2回理事会	（会場：山口グランドホテル）
○8月29日	夏季医療経営講習会	（会場：山口グランドホテル）
○9月18日	栄養関係職員医療安全対策研修会	（会場：山口県総合保健会館）
○10月2日	中堅看護師研修会	（会場：山口県総合保健会館）
○10月24日	看護師長研修会	（会場：山口県総合保健会館）
○12月3日	看護補助者・介護職員研修会	（会場：山口県総合保健会館）

編集後記

令和・初めての会報をお届けします。◆山口県病院協会は、5月の総会で新役員を選任し、三浦修会長の下新しい役員で運営することになります。皆様のご協力をお願いします。◆平成から令和への改元に伴う4月・5月の長期10連休は大変でした。10日間も外来診察を閉じることは患者さんの診療に支障があり、自院の患者さんの為に通常の診療として開院された医療機関もありましたが、職員の代休の確保に困っているようです。◆県内各医療圏で地域医療構想調整会議が行われていますが、どの医療圏も「本音が言えず」具体的な方針を示すことが出来ていません。病床削減・医療費削減のための政策ですが、高齢者が増え続けている今実施すると大混乱は目に見えており、病床削減は10-15年後以降の自然淘汰を待つことは出来ないのでしょうか。◆鬱陶しい梅雨の時期を迎えています。昨年県東部は豪雨災害に見舞われました。年々気象の変化が激しくなっていくように思います。猛暑本番、負けないで頑張りましょう。（吉岡春紀）